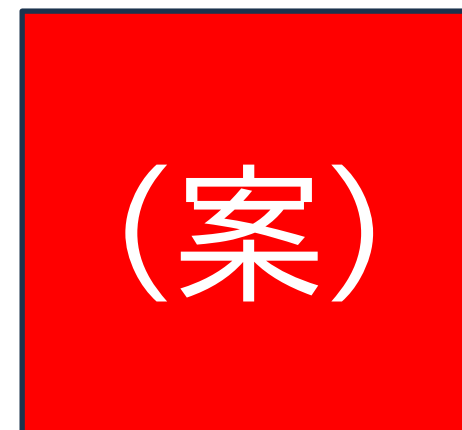


【別冊】

熊本市こども計画2025

令和8年度実行計画

(重点取組)



こどもが輝き、
若者が希望を抱くまち
の実現に向けて

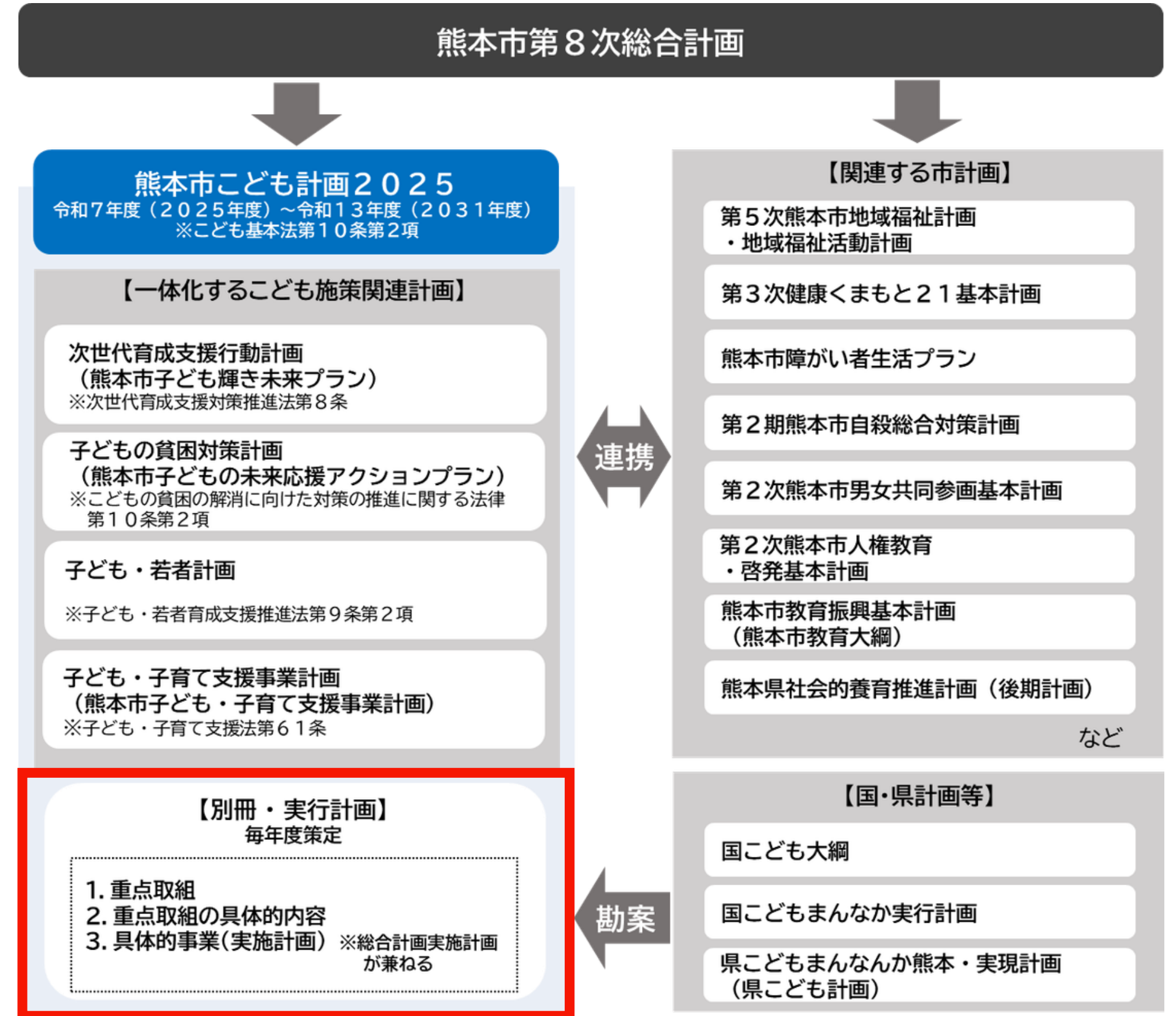
熊本市

令和8年(2026年)4月



実行計画について

- 本実行計画は、2025年から7年間を見据えた本市におけるこども施策の基本的な方針等を定めるこども計画本編に基づき、当該年度の重点取組や具体的な事業を中心にまとめたものです。
- 実行計画のうち、具体的な事業をとりまとめた実施計画については、第8次総合計画の実施計画が兼ねています。
- 総合計画アクションプラン、国のこどもまんなか実行計画、県こども計画の見直しに応じて、毎年度見直しを行います。



目指す姿

こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

熊本市こども計画2025に基づき、令和7年度から令和13年度までを計画期間としてこども施策を総合的に推進していきます。

令和8年度重点取組

- 令和8年度も、令和7年度に引き続き、こどもや若者、子育て当事者の安心感の向上につながる取組を充実させるため、5つの「安心」を柱として重点的に取り組みます。
- こどもの性被害防止に向けた取組をはじめ、子育て応援アプリ「くまっと」を活用した子育て世帯への支援、認可外保育施設へのAED設置支援など、こども局予算全体としては前年度から37億円増の725億円に増加しています。



重点取組

こども・子育て支援施策の令和8年度の事業展開

5つの「安心」なまちづくり

こどもや若者、子育て当事者の視点に立ち、子育て当事者の子育て等で生じる不安やストレス、悩みを軽減するとともに、こどもや若者が「安心」して、勉強、スポーツ、遊びなどができる環境づくりに取り組みます。



安心 1

こどものいのちと権利を
守ります



安心 2

社会全体で
子育て当事者を支えます



安心 3

安全・安心な居場所と
学びの場を提供します



安心 4

困難な状況にある
こどもや家庭を支援します

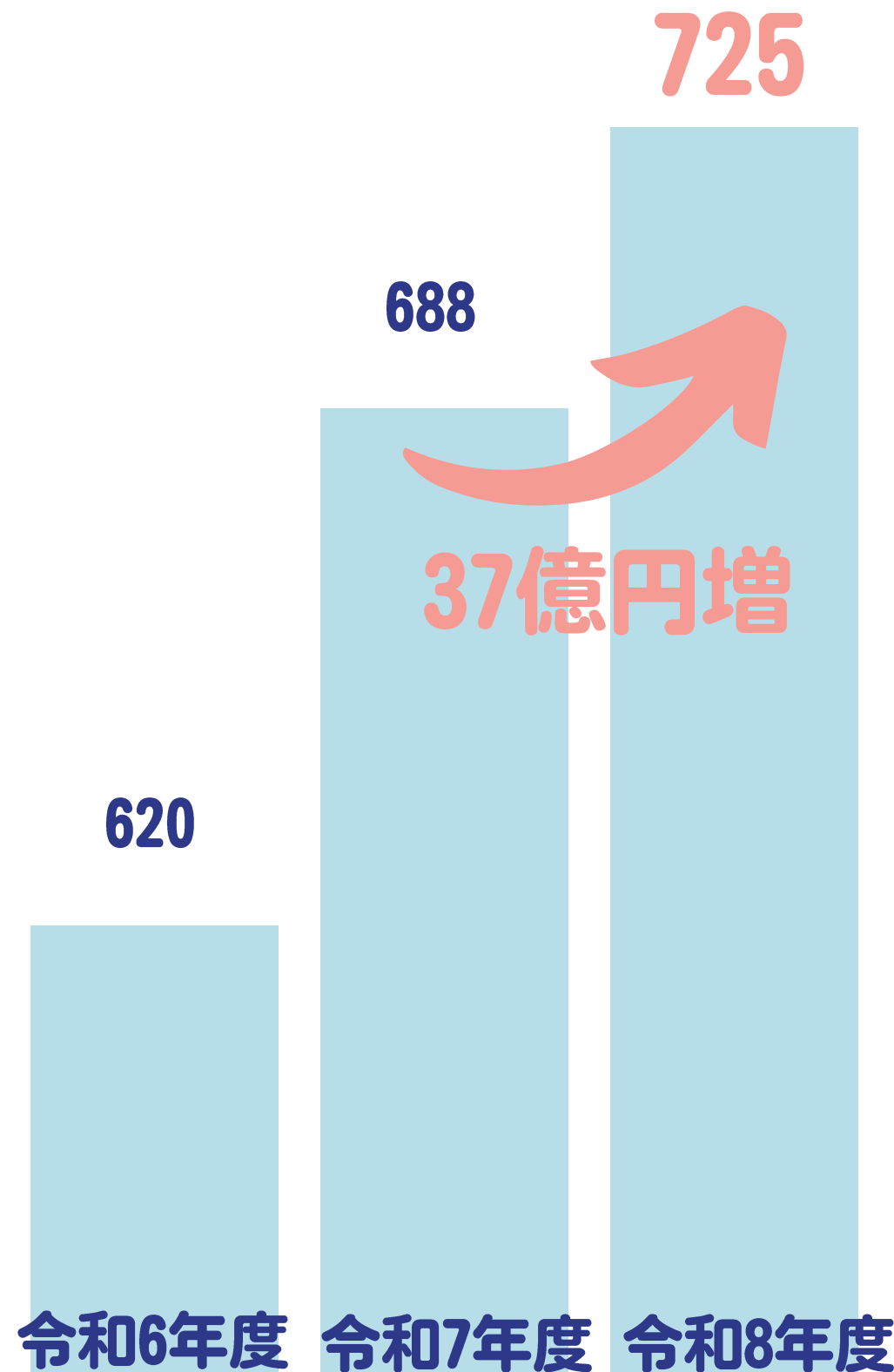


安心 5

若者等の希望の実現と
活躍の場を提供します

令和8年度こども局予算の全体像

01. 総額725億円の予算措置



02. 予算内訳

取組	事業数	予算額
安心1 こどものいのちと権利を守る	11事業	1億1,291万円
安心2 社会全体で子育て当事者を支える	75事業	582億5,096万円
安心3 安全・安心な居場所と学びの場を提供する	4事業	5,111万円
安心4 困難な状況にある子どもや家庭を支援する	57事業	98億8,384万円
安心5 若者等の希望の実現と活躍の場を提供する	6事業	5,782万円
その他	7事業	41億1,504万円

160事業

725億円

※こども計画では、こども局以外のこども・若者、子育て当事者に関する取組も総合的に推進していきます。

令和8年度の重点取組の詳細

【安心1】こどものいのちと権利を守る取組

新規 こどもの性被害防止に向けた取組 **3.0** 億円 令和8年度予算額

こどもへの性加害行為が全国的に多発しており、学校をはじめ、こどもが生活するあらゆる場での安全の確保が求められています。令和8年末に予定されている「こども性暴力防止法」の施行にあわせて、本市においても、こどもの性被害防止に向けた取組を強化します。

-Point-

- ・ ①未然防止、②早期発見、③被害者支援を柱に早急に取り組むべき取組をとりまとめた「こどもの性被害防止対策パッケージ」を策定。
- ・ こどもの性被害防止に向けた本市の基本理念や方針等を示した「こどもの性被害防止条例（仮称）」を制定。

未然防止	<ul style="list-style-type: none">・ こどもや保護者、関係団体への啓発強化・ 教職員、保育士等への研修の充実・ 学校・公立保育園等での巡回点検の実施・ 教職員、保育士等が守るべき行動規範の策定 など
早期発見	<ul style="list-style-type: none">・ こどもセンター、公設児童館、児童育成クラブ、学校・公立保育園出入口への防犯カメラの設置・ 教職員等による性暴力・不適切行為の疑いを早期に把握し、必要な措置を講じるための仕組みの整備 など
被害者支援	<ul style="list-style-type: none">・ こども家庭センターにおける虐待相談・支援・ こどもホットライン、24時間チャット相談による相談対応・ スクールカウンセラー・心のサポート相談員の配置・ 学校において直接弁護士に相談できる「スクールロイヤー」制度を整備 など

こどもをまもろう みんなでまもろう



<こども性暴力防止法 事業者マーク>

【安心1】こどものいのちと権利を守る取組

新規

小学校1年生へ通学用の黄色い帽子を配布

令和8年度予算額

830 万円

小学校に入学する新1年生に黄色い帽子を配布することにより、児童が確実に黄色い帽子を着用し、安全に通学できる環境を整備します。

-Point-

- ・本市の小学校へ入学する児童へ配布
- ・通学時における安全確保
- ・地域全体でこどもを見守るという機運の醸成

小学校の歩行中の交通事故（令和元年～令和5年）



(出典：政府広報オンライン)
小学校1年生の歩行中の死者・重傷者は6年生の約2.9倍。新1年生を交通事故から守るには？



こどもの権利サポートセンター

令和8年度予算額

2,497 万円

学校内外問わず、こどもの権利に関する相談を総合的に受け、支援策をトータルコーディネートし、関係機関と連携して事案の早期解決に取り組みます。また、こどもの権利に関する広報啓発を行います。

-Point-

- ・電話やはがき、メールのほか、24時間チャット相談によりこどもの悩み・相談に幅広く対応

令和7年度相談件数

こどもホットライン
(電話・はがき・メールなど)

294件

※R8.2末時点

チャット相談

1,057件

※R8.2末時点

くまもと市 熊本市立学校の学習用タブレットからもホームページにつながるよ

こどもホットライン

だれ 誰にも話せない悩み 自分自身のこと 家族のこと
ともたち 友達のこと 学校のこと

でんわ 月～金 10時から18時
0120-273-070 無料
(大人の方) 070-3367-9330

メール いつでも受付
kodomohotline@city.kumamoto.lg.jp

24時間365日
チャット相談

だれ 誰でも無料!!
名前を言わなくてOK!!
途中でやめても大丈夫!!

熊本市と協力している
「NPO法人あなたのいばしょ」の
相談員が優しく
あなたのお話を聞きます。

【安心1】こどものいのちと権利を守る取組

学校の支援体制強化

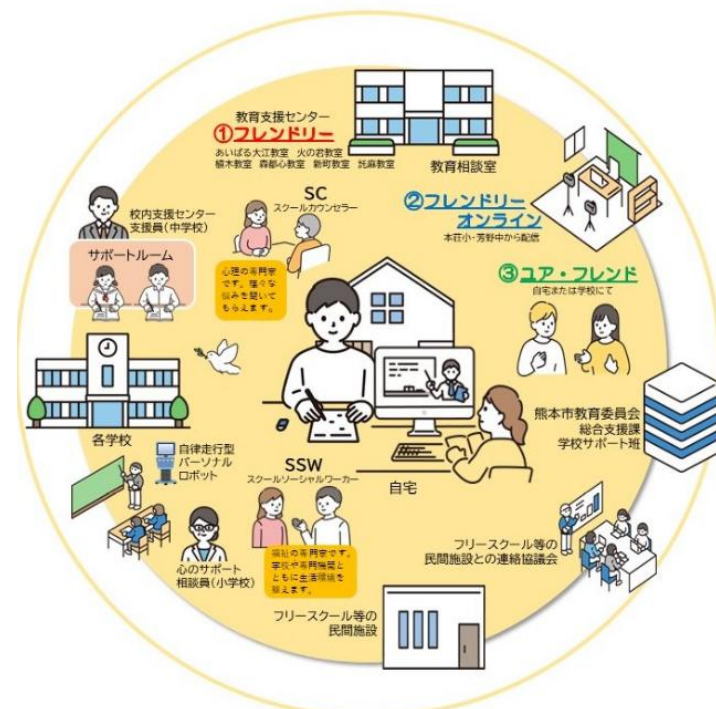
令和8年度予算額
6.9 億円

福祉の専門家のスクールソーシャルワーカーによる支援や、心理の専門家のスクールカウンセラーによるカウンセリング等を実施し、児童生徒に係るいじめや不登校等の諸課題の予防・早期解決に取り組みます。

また、支援を必要とする児童生徒のいる学級に、担任教諭等を補助する学級支援員を派遣し、児童生徒の安全確保・学習環境の改善を行います。

-Point-

- ・専門的なカウンセリングを行うスクールカウンセラーを配置
- ・医療的ケアを必要とする児童生徒に対応する看護師を配置



詳しくは
コチラ



不登校児童生徒への “こころの居場所づくり”

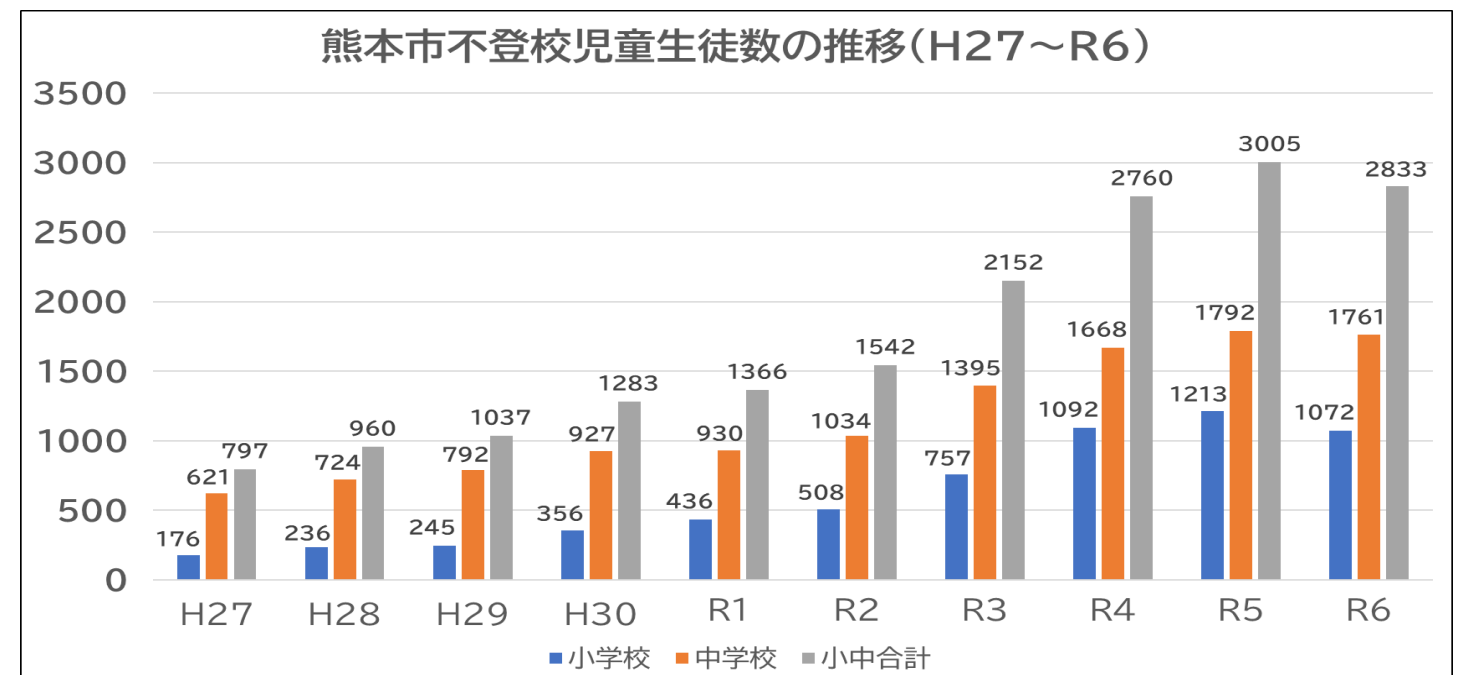
令和8年度予算額
6,110 万円

直接通所してさまざまな体験や学習を行う教育支援センター〈フレンドリー〉、教育ICTを活用して学びの機会を保障するフレンドリーオンライン、熊本大学教育学部の学生を学校や家庭に派遣するユア・フレンドの拡充により、不登校児童生徒の社会的自立を支援します。

-Point-

- ・市内6箇所に教育支援センター〈フレンドリー〉を設置
- ・オンラインの配信によるフレンドリーオンラインを実施
- ・話し相手、遊び相手になる学生をユア・フレンドとして派遣

熊本市の不登校数の推移



【安心1】こどものいのちと権利を守る取組

こどもや若者の意見反映

こどもや若者の自己肯定感や自己有用感、主体性を高めるため、また、こども等のニーズを踏まえた効果的な取組を行っていくため、こどもや若者の意見を聴き、市政に反映させていきます。

-Point-

- ・こども等の意見を効果的に引き出すためのファシリテーターの養成
- ・こども・若者モニター制度の実施
- ・こども・若者意見反映に関する仕組みの策定・運用開始

妊娠内密相談センター

予期せぬ妊娠に悩む方等に対する伴走型支援を行います。
また、性に関する正しい知識の普及啓発に取り組みます。

-Point-

- ・予期せぬ妊娠を防ぐため、学校や関係機関と協力して講演会や研修会を行うなど、包括的性教育を推進



令和8年度予算額

50 万円

令和8年度予算額

379 万円

【安心2】社会全体で子育て当事者を支える取組

新規

小学校給食費の無償化等

令和8年4月から、小学校の給食費を完全無償化します。
また、中学校については、上昇する食材費に対して物価高騰支援を行うことで、給食費（保護者負担額）を据え置き、子育て世帯の負担軽減を図ります。

-Point-

- 小学校（特別支援学校小学部含む）
 - ・令和8年4月から学校給食費を無償化する
 - ・国の支援基準額（5,200円）と食材調達額（5,700円）との差額は、保護者に負担を求めず市の負担とする。
 - ・食物アレルギーにより給食を完全に停止している児童（家庭から弁当を持参している児童）に対して給付を行う。
- 中学校（特別支援学校中学部含む）及び特別支援学校高等部
 - ・現在の給食費と食材調達額との差額は、物価高騰支援策により市の負担とし、給食費（保護者負担額）は据え置く。

令和8年度予算額

4.3 億円

※公費負担部分



小学校
特支(小)
1人あたり年間
約6万3千円の負担軽減



中学校
特支(中高)
食材費高騰分
は公費支援
1人あたり年間
約1万7千円の負担軽減

【安心2】 社会全体で子育て当事者を支える取組

新規

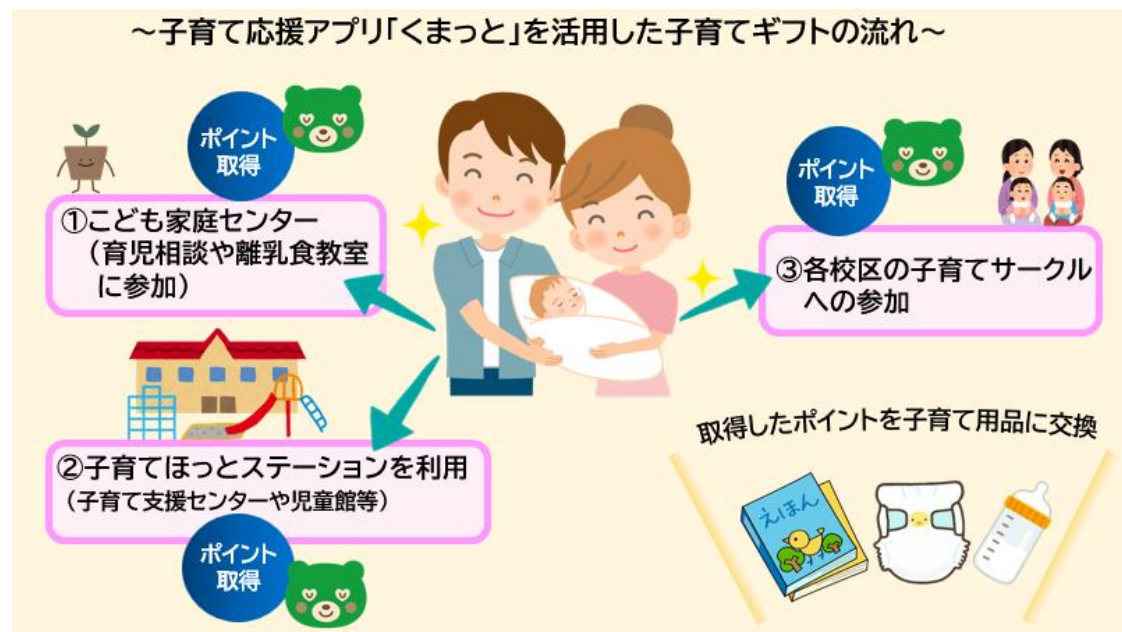
子育て応援アプリを活用した地域における子育て支援

令和8年度予算額
4,700万円

少子化等の進行により、子育て家庭が孤立化、孤独化傾向にあることを踏まえ、地域での子育て支援の促進と子育て中の保護者の経済的・精神的負担軽減を図るための取組を推進します。

-Point-

- ・子育て応援アプリ「くまっと」の電子クーポンを活用したギフトの提供
- ・出産後に絵本ギフトをご自宅へ配送
- ・子育てほっとステーション等の子育て関連施設や地域の子育てサークルへ参加した場合に取得できるポイント数に応じて選べる子育て用品をご自宅へ配送



新規

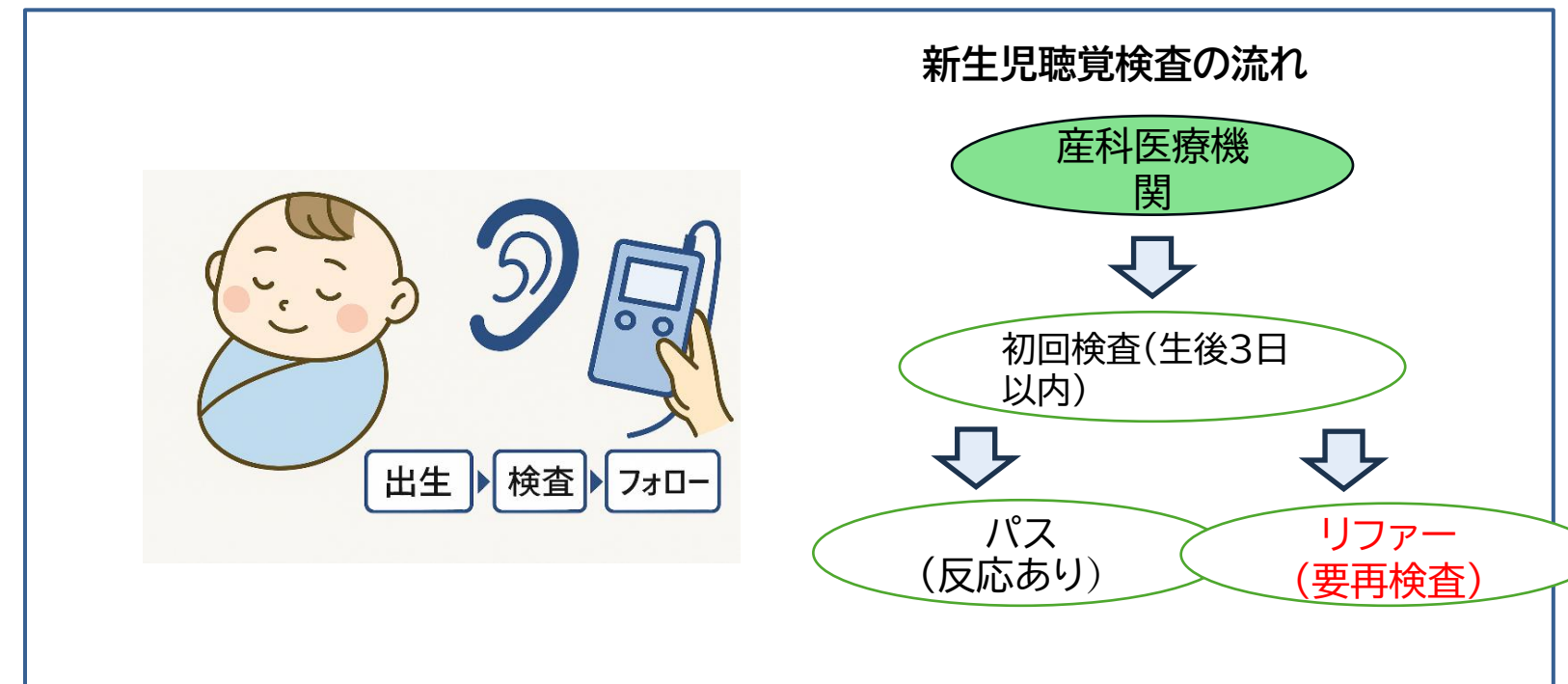
新生児の聴覚検査

令和8年度予算額
2,600万円

聴覚障がいとは、早期発見と適切な支援で言語発達への影響が最小限に抑えられることから、全ての新生児を対象とした聴覚検査を実施します。

-Point-

- ・出生後早期（概ね生後3日以内）に産科・新生児科で実施される聴覚検査について、全額公費負担により実施（これまでは受検者負担）
- ・検査結果を全数把握し、再検査が必要な児を早期に確認するとともに、フォローが必要な児及び保護者を適切に支援



【安心2】 社会全体で子育て当事者を支える取組

新規

小児慢性特定疾病児童等への支援 165 万円

令和8年度予算額

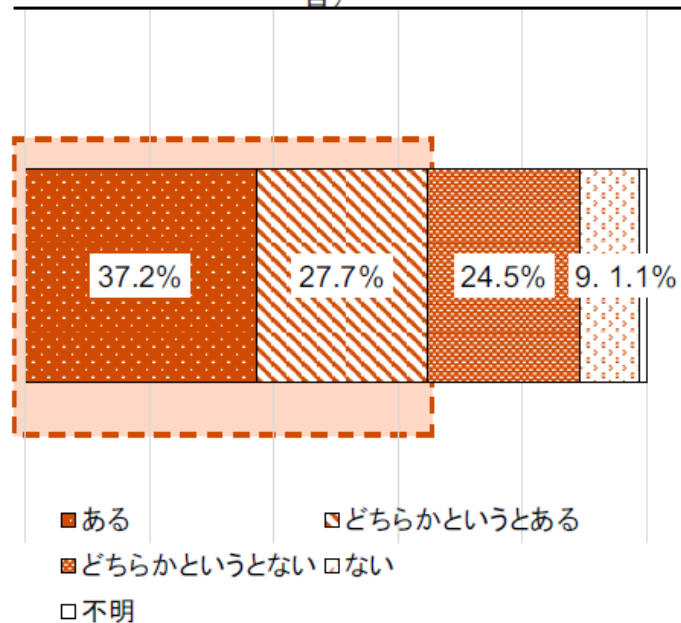
万円

小児慢性特定疾病のあるお子さんやそのご家族が、生活面・社会参加面で必要な支援につながり、将来の自立を見据えて切れ目のない支援を行うための事業です。自立支援や養育支援に関する相談等に対応できる専門の窓口を設置します。

-Point-

- ・ 自立支援や養育支援に関する相談等に対応できるよう専門の相談窓口を設置
- ・ 小慢児童及びその家族同士が交流できるイベントを開催

問12.あなたはお子さまの在宅での生活を支えることに不安や悩みを感じることはありますか。(n=94、単一回答)



新規

妊娠を希望する方への支援

令和8年度予算額

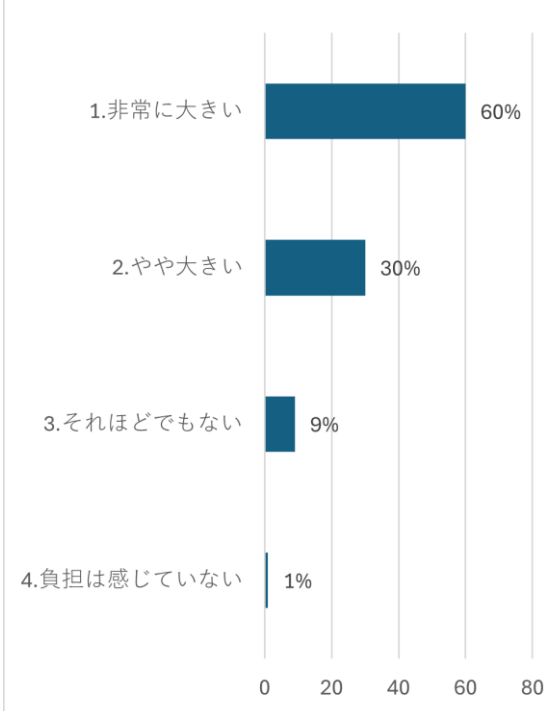
1,850 万円

保険診療の不妊治療と併せて実施した先進医療にかかる費用を助成することで、経済的負担を軽減し、治療選択の幅を広げます。夫婦1組につき、1年度あたり上限5万円まで助成し、治療を継続しやすい体制をつくります。

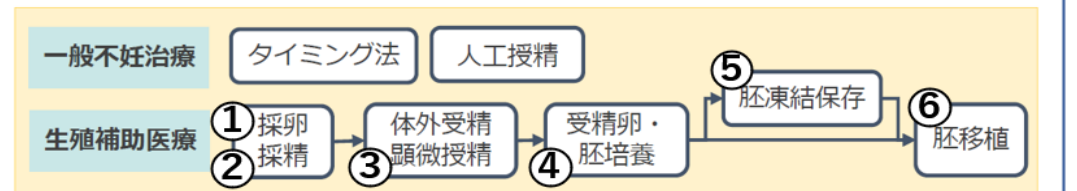
-Point-

- ・ 先進医療の実費負担を軽減し、経済的理由で治療を諦めないための支援体制
- ・ 治療の継続を支え、安心して妊娠を目指せる環境づくり

不妊治療にかかる費用は、ご自身の家計にどの程度の負担だと感じますか。(不妊治療中の回答者：n=93、単一回答)



※一般不妊治療及び生殖補助医療はR4.4より保険適用



先進医療:上記(③、④、⑥)と組み合わせて追加的に実施(令和8年2月1日時点)

- 【③とセット】
- ・ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術(PICSI)
 - ・強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術(IMSI)
 - ・膜構造を用いた生理学的精子選択術

- 【④とセット】
- ・タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養

- 【⑥とセット】
- ・子宮内細菌叢検査1(EMMA/ALICE)
 - ・子宮内細菌叢検査2(子宮内フローラ検査)
 - ・子宮内膜受容能検査1(ERA)
 - ・子宮内膜受容能検査2(ERPeak)
 - ・子宮内膜刺激術(SEET法)
 - ・子宮内膜擦過術(子宮内膜スクラッチ)
 - ・二段階胚移植術
 - ・着床前胚異数性検査

【安心2】 社会全体で子育て当事者を支える取組

子育て応援アプリ“くまっと”

令和8年度予算額
66 万円

子育て応援アプリ「くまっと」は、将来のライフプランを考える若い年代の方から妊娠中、子育て中の方に向けて、必要な情報をお届けします。

-Point-

- ・ 地域の子育てサービスを簡単に検索
- ・ 予防接種の予定日、地域の子育てイベント情報などをプッシュ型で発信
- ・ 子育て（母子手帳）の記録を保存・管理



拡充 産後ケア

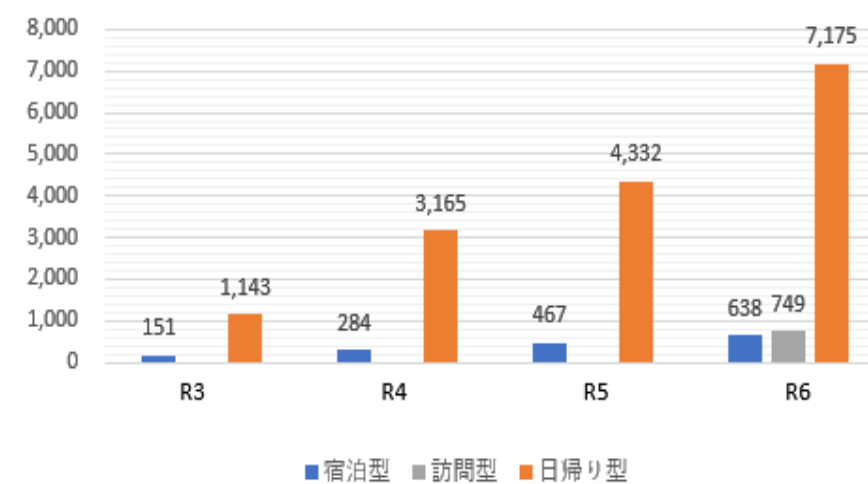
令和8年度予算額
8,000 万円

助産師等の看護職が中心となり、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援します。具体的には母親への保健指導や栄養指導、心理的ケア、適切な授乳に必要なケア、育児の手技にかかる指導及び相談を行います。

-Point-

- ・ 対象者は産後1年未満で支援を必要とする全ての産婦
- ・ 医療機関や助産所で、宿泊型、日帰り型、訪問型によるケアを実施
- ・ 産婦の状況に応じて通算10回まで利用可能

産後ケア延べ利用者推移



【安心2】 社会全体で子育て当事者を支える取組

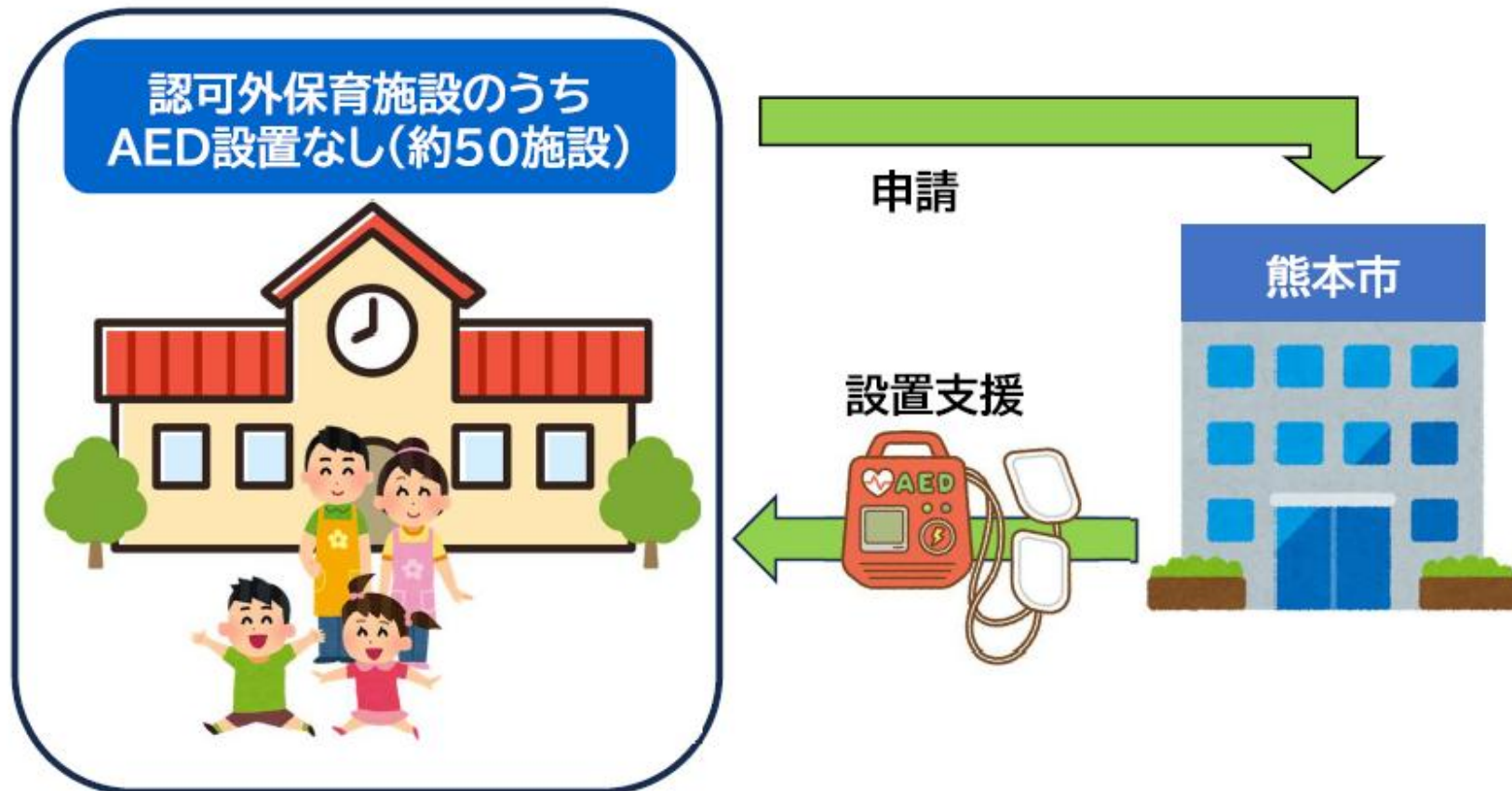
新規

認可外保育施設へのAED設置支援 **935** 万円 令和8年度予算額

保育施設の安全性を高めるため、認可外保育施設へのAED設置を進めます。AEDの普及により、緊急時の対応力を高め、こどもたちや施設を利用する皆さまがより安心して過ごせる体制を整えます。

-Point-

- ・利用者の安全性の向上
- ・重大事故への対応速度の大幅な向上



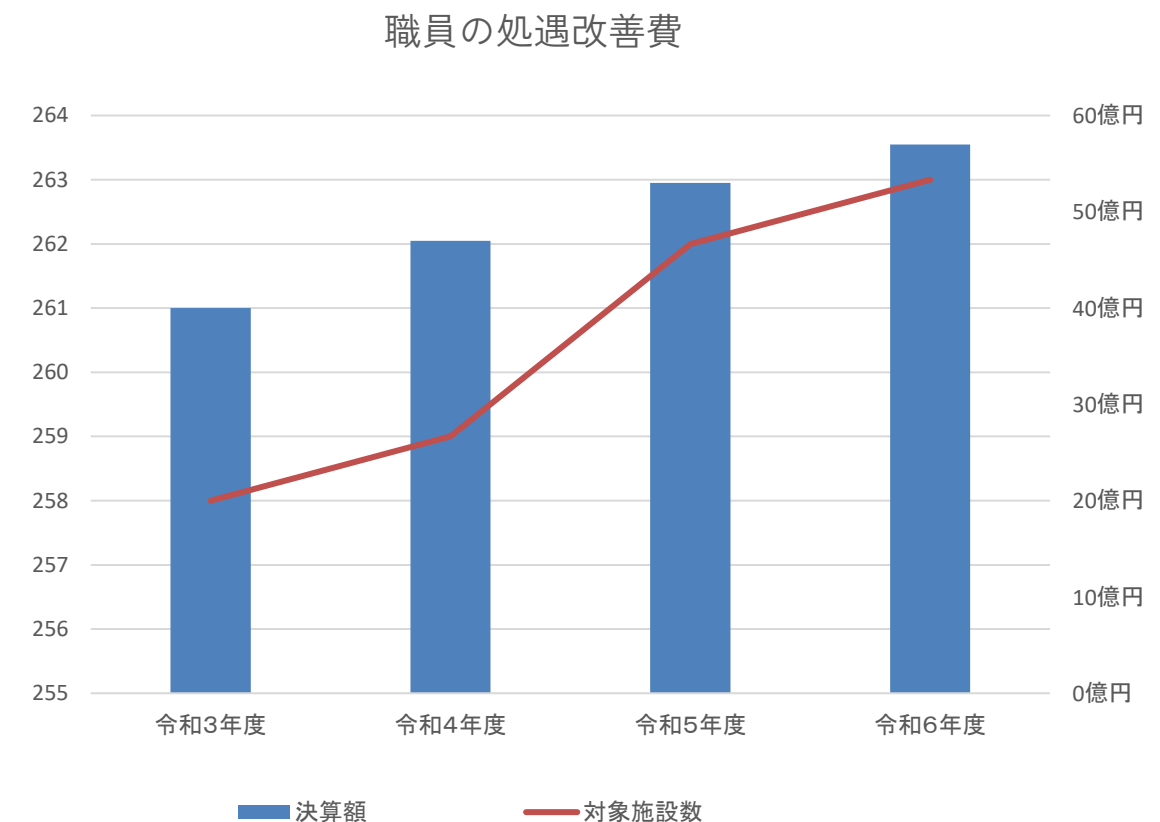
保育所等への支援

令和8年度予算額 **326** 億円

こどもを安心して預けられる環境づくりのため、保育所・認定こども園などに対し運営費を支給します。保育士の配置や施設の運営に必要な費用を公費で支えることで、保育の質を維持し、保護者負担の軽減につなげていきます。

-Point-

- ・保育所等の利用に係る保護者負担の軽減
- ・職員の処遇改善による職場への定着及び質の高い人材の確保



【安心2】 社会全体で子育て当事者を支える取組

拡
充

こども誰でも通園制度の拡充

令和8年度予算額
1.0 億円

多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、保育所等に通われていない生後6ヶ月から3歳未満のお子さんを、保護者の就労要件等を問わず時間単位で、保育所等においてお預かりする制度を実施します。

-Point-

- ・専業主婦(夫)や育休中で保育所に入所することができない方でも本制度を利用することが可能
- ・令和8年度から実施施設数を拡充（11→20施設）

0歳6か月から2歳児の人口

人口	13,312人
入所児童数	8,592人
未就園児数	4,720人

↑利用対象となる人数

※令和7年4月時点



拡
充

児童育成クラブの運営

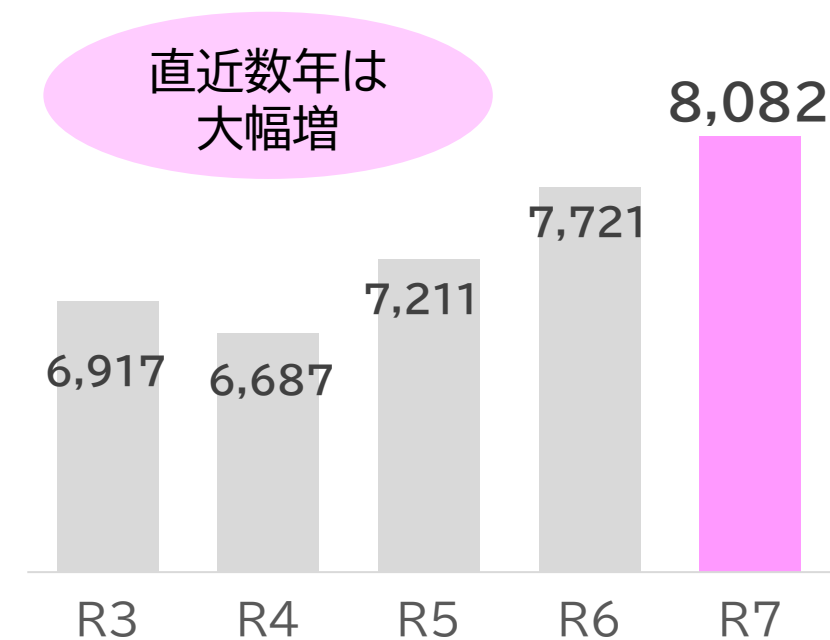
令和8年度予算額
27.2 億円

保護者が労働等で昼間家庭にいない小学校の児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成を図ります。また、児童が安心して快適に過ごせるよう、手狭な施設や老朽化した施設の増改築を進めます。

-Point-

- ・登録児童の増加に対応し、クラブを安定的に運営するための支援員の確保
- ・防犯カメラやセンサーライトの設置など、こどもの性被害防止等に向けた対策の推進

登録児童数の変化



【安心2】 社会全体で子育て当事者を支える取組

子育て支援優良企業認定

令和8年度予算額

390 万円

安心して子育てと仕事の両立ができる働きやすい職場環境の整備を進める企業を「子育て支援優良企業」として認定します。

-Point-

- ・認定企業及び優良事例をまとめた事例集を高校・大学・合同就職説明会等で配布
- ・男性従業員向け家事・育児の情報提供



産前産後ホームヘルプ

令和8年度予算額

1,670 万円

妊娠中・出産後の体調不良や多子出産などで家事・育児を行うことが困難な家庭にホームヘルパーを派遣し、家事・育児の支援を行います。

-Point-

- ・利用可能期間：登録決定日から出産後1年未満まで
- ・利用可能日数：40回まで（1日複数回の利用も可能）
- ・R7.4.1からHPに記載の事業者であればどこでも利用可能



こども・子育て応援サイト

令和8年度予算額

148 万円

こどもが安心して遊んだり学んだりできる居場所マップや、妊娠・出産・子育てなどの各ライフステージに応じて必要な制度や支援情報を提供し、こどもが健やかに成長でき、安心してこどもを産み育てやすい環境づくりを行っています。

-Point-

- ・保育園、病児・病後児保育の空き状況
- ・子育てイベント情報
- ・親子にやさしいおでかけマップ
- ・こどもの居場所マップ など

熊本市

こども👶子育て応援サイト



病児・病後児保育

令和8年度予算額

1.2 億円

熊本市および連携自治体在住の小学6年生までのお子さんが病気あるいは病気回復期において、保護者が家庭で保育を行うことができない場合、一時的に施設でお預かりします。

-Point-

- ・利用には事前登録（毎年度）が必要
- ・連携自治体：宇城市、合志市、菊池市、菊陽町、西原村、嘉島町、玉東町、高森町、大津町、益城町、山鹿市、玉名市、荒尾市、御船町、長洲町、山都町



【安心2】 社会全体で子育て当事者を支える取組

子育てほっとステーション

令和8年度予算額

4.5 億円

子育て中の皆さんが気軽に訪れることができ、ほっとくつろげる空間として、次の施設を「子育てほっとステーション」と名づけています。

-Point-

- ・安全で利用しやすい環境整備を実施（西原公園児童館及びこども文化会館のトイレ洋式化、こども用トイレ新設等）
- ・公設児童館10施設に防犯カメラを設置



児童手当

令和8年度予算額

164.8 億円

家庭における生活の安定と次代の社会を担うこどもの健やかな成長を目的として、こどもを養育している保護者に手当を支給する制度です。

-Point-

令和6年度10月の制度改正により...

- ・高校生まで対象が拡充
- ・所得制限が撤廃
- ・第3子以降は一律3万円を支給



こども医療費助成

令和8年度予算額

31.4 億円

高校3年生までの医療費を助成することにより、こどもの健康の保持及び養育者の経済的支援を図ります。

-Point-

- ・全年代の入院費・保険薬局代が全額無料
- ・外来の医科は2歳まで全額無料
- ・歯科は4歳まで全額無料



ようこそ赤ちゃんプロジェクト

令和8年度予算額

5.7 億円

妊娠期から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を行います。

-Point-

- ・妊娠届出時：
妊婦1人あたり5万円
- ・赤ちゃん訪問時：
胎児1人あたり5万円
- ・校区担当保健師が中心となり、妊婦さんや子育て家庭をサポート



【安心3】安全・安心な居場所と学びの場を提供する取組

拡
充

こどもの居場所の確保

令和8年度予算額

3,210万円

家庭や学校に居場所のないこどもが安心して過ごすことができる「こどもの居場所」を提供します。

専門スタッフが生活習慣の形成や学習支援、食事の提供などを行います。

-Point-

- ・ 2箇所設置（市内全域の送迎支援）
- ・ 心理専門職員を配置し、心理面の支援を拡充



2箇所（定員 各10名）



拡
充

こども食堂の拡充に向けた取組

令和8年度予算額

1,326万円

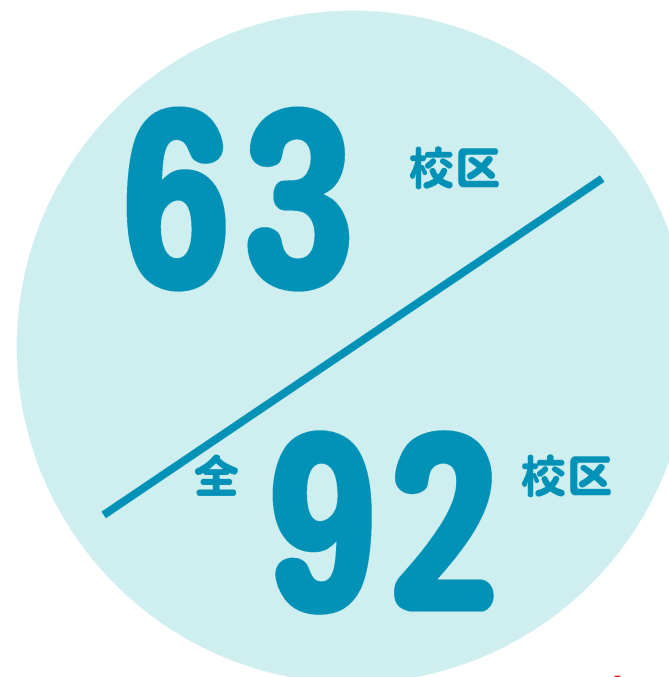
全小学校区におけるこども食堂の開設や地域住民のこども食堂への参加・協力を促すための啓発活動を行います。

また、こども食堂の活動をサポートするため、寄附者とのマッチングや支援情報の提供等行うとともに、運営費の助成を充実します。

-Point-

- ・ こども食堂キャラバン隊によるこども食堂の活動や魅力の発信
- ・ こども食堂関係者間のつながりづくりの場の提供（ワークショップ）
- ・ こども食堂に対する助成の充実により安定的な活動を支援

開設校区数



※R8.2末時点



【安心3】安全・安心な居場所と学びの場を提供する取組

拡
充

新しい学校部活動実施に向けた取組

令和8年度予算額
1.2 億円

少子化の影響や教職員の働き方改革を踏まえ、これまでの在り方を見直し、持続可能な学校部活動の運営を目指します。
また、部活動指導者を地域から広く募集し、企業等と連携して、地域に支えられた活動を展開します。

-Point-

- ・地域人材を活用した部活動指導員の人員拡充
- ・人材や財源確保のための広報等の取組を実施
- ・受益者負担、公費負担、企業等の協力の3本柱で安定的な財源を確保

本市の少子化
(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)より」)

区分	2020	2050	2050-2020
年少人口 10~14歳	34,421人	26,725人	▲7,696人 (▲22%)

本市中学校教員による部活動従事
(令和7年度教職員の働き方改革に向けたアンケートより)

業務の中で「特に負担が大きいと感じる」項目で、「部活動」を選択した割合	42.5%
-------------------------------------	-------



拡
充

学校施設の適切な管理と体育館等への空調設置等の推進

令和8年度予算額
97.3 億円

体育館等への空調設置に向け設計を実施するほか、学校施設の増改築や天明義務教育学校の建設を着実に進めるとともに、トイレ洋式化やエレベーターの設置等のバリアフリー化を進めます。

-Point-

- ・体育館等への空調設置に向けた取組を実施
- ・学校内の全ての施設のトイレ洋式化を実施
- ・校舎、体育館両方にバリアフリートイレを整備

【体育館等への空調設置スケジュール】

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
中学校 41校 他	設計	工事		
小学校 88校		設計		工事



【安心3】安全・安心な居場所と学びの場を提供する取組

教育現場体験による教員確保

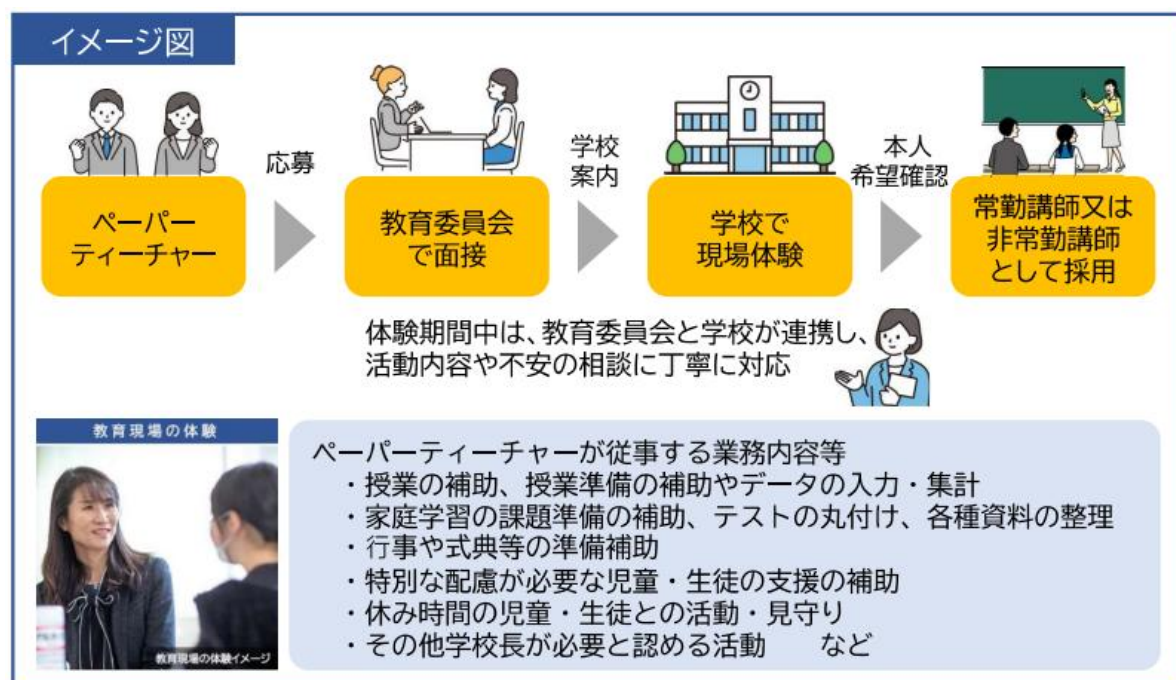
令和8年度予算額

280 万円

教員免許を保有しているものの、教育現場での勤務をしていないペーパーティーチャーを学校におけるアシスタントとして受け入れ、教育活動の補助や児童生徒との関わりを通じて現場理解を促進し、採用につなげることで、教員確保を図ります。

-Point-

- ・教員の未配置が生じている学校で、ペーパーティーチャーをアシスタントとして受け入れる。
- ・活動期間は原則1ヶ月とし、教育活動の補助や児童生徒との関わりを通じて現場理解を促進する。



くまもと花博の開催

令和8年度予算額

5,400 万円

花や緑に囲まれた暮らしを広め、熊本がさらに愛される都市となることを目指して、令和4年3月から5月にかけて開催された全国都市緑化くまもとフェアのレガシーを引き継いだ「くまもと花博」を開催し、市内で花や緑の展示や体験イベントなどを実施します。

-Point-

- ・ツリークライミングやハイキング、木工体験、野菜収穫、クリーン活動、自然観察などを通じて、自然の魅力を満喫しながら、環境保全や森づくりの重要性を学ぶ場を提供
- ・ナノハナ種まき体験や探鳥会、フラワーワークショップを開催（自然とのふれあいを通じた学びの提供）



ツリークライミング



木育バス



フラワーワークショップ



種まき体験



木工体験



【安心3】安全・安心な居場所と学びの場を提供する取組

安全で安心な公園環境の整備

令和8年度予算額
2.4 億円

古くなった遊具の修繕や更新を行い、こどもたちが安心して遊べる公園を整備します。

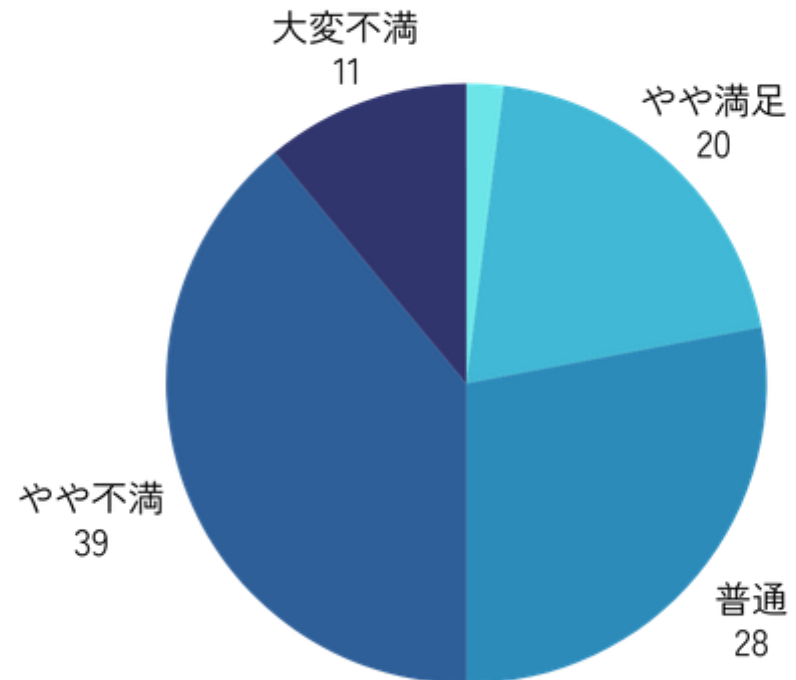
公園利用者の声を反映した公園の集約や再整備を進め、安全な公園利用や利用率の向上を図ります。

-Point-

- ・年に2回の施設点検（夏休み前、冬休み前）
- ・長寿命化計画に基づいた遊具等の修繕・更新
- ・ワークショップ等による公園利用者の意見を反映した再整備

身近な公園の満足度について

(単位：%)



遊具の損傷状況



利用者や小学生声を活かした公園づくり

動植物園における学びの場の提供

令和8年度予算額
600 万円

いきもの学習センターのリニューアルオープンを行い「熊本市の自然環境教育の拠点」として、楽しく、わかりやすい学習の場の提供や生息域外保全に取り組みます。

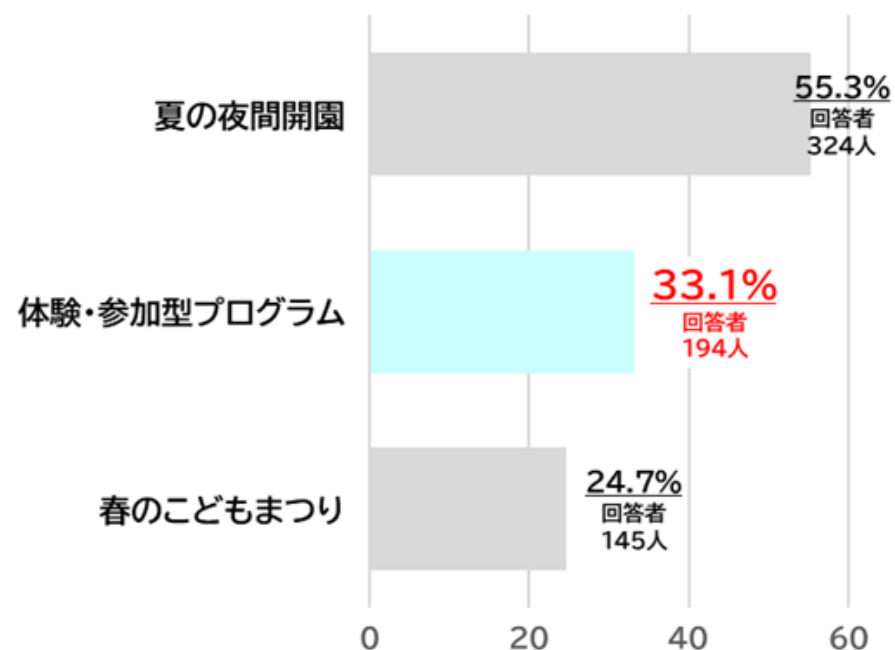
また、サマースクールや謎解きイベントといった体験型プログラムの充実を図ります。

-Point-

- ・生き物のおもしろさや生物多様性について体感できる施設
- ・学びとエンターテイメント性の両立した体験・参加型イベントの開催

継続してほしいイベントTOP 3

〔R6年度動植物園内アンケート調査より〕



命の大切さについて学ぶイベント



【安心4】 困難な状況にある子どもや家庭を支援する取組

ひとり親家庭への就業支援

令和8年度予算額
8,906万円

ひとり親家庭等に、住居借り上げ資金（住宅支援資金）や、資格取得のための入学・就職準備金の貸付（訓練促進資金）を行い、生活基盤の安定を支援します。

-Point-

- ・住居借り上げ資金は月額7万円以内、資格取得のための入学準備金は50万円以内、就職準備金は20万円以内で貸付
- ・就職後に一定期間就労を継続すると返還免除

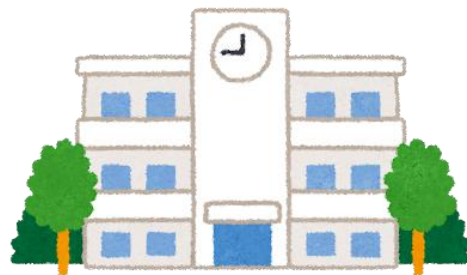


返還免除実績
(R4~R6年度)

67件
(住宅支援資金)



9件
(訓練促進資金)



詳しくは
コチラ



放課後学習教室

令和8年度予算額
164万円

家庭環境にかかわらず学習機会の確保と充実が図られるよう、放課後の空き教室を活用し、教員退職者等の協力を得て、中学生への学習支援を行います

-Point-

- ・子どもたちの「学びたい」という気持ちを育み、学習習慣の定着や基礎学力の向上を目指します。
- ・普段から通い馴れた学校内で安心して学習に取り組めます。



詳しくは
コチラ



【安心4】 困難な状況にある子どもや家庭を支援する取組

令和8年度予算額 **3,870** 万円
一時的なこどもの養育支援の充実

仕事や病気などの理由でこどものお世話が難しい場合に児童養護施設等でこどもを預かります。(ショートステイ・トワイライトステイ)

-Point-

- ・こどもを預かる専用室を設置し、安定した受入環境を整備

専用室



3 箇所

男児・女児・乳児(各1箇所)



令和8年度予算額 **2,450** 万円
若者・ヤングケアラー支援センター

若者・ヤングケアラー支援センターでは、若者とヤングケアラー等からの様々な相談(ニート、ひきこもり、就労、疾病・障がい、人間関係等)をワンストップで受け付け、情報の提供、助言等を行い、適切な支援機関を紹介しています。

-Point-

- ・専門資格やスキルを持つ相談支援員による訪問相談等のアウトリーチ型支援
- ・若者やヤングケアラーが気軽に立ち寄れ、安心して自由に自分の時間が過ごせる居場所を提供



【安心4】 困難な状況にある子どもや家庭を支援する取組

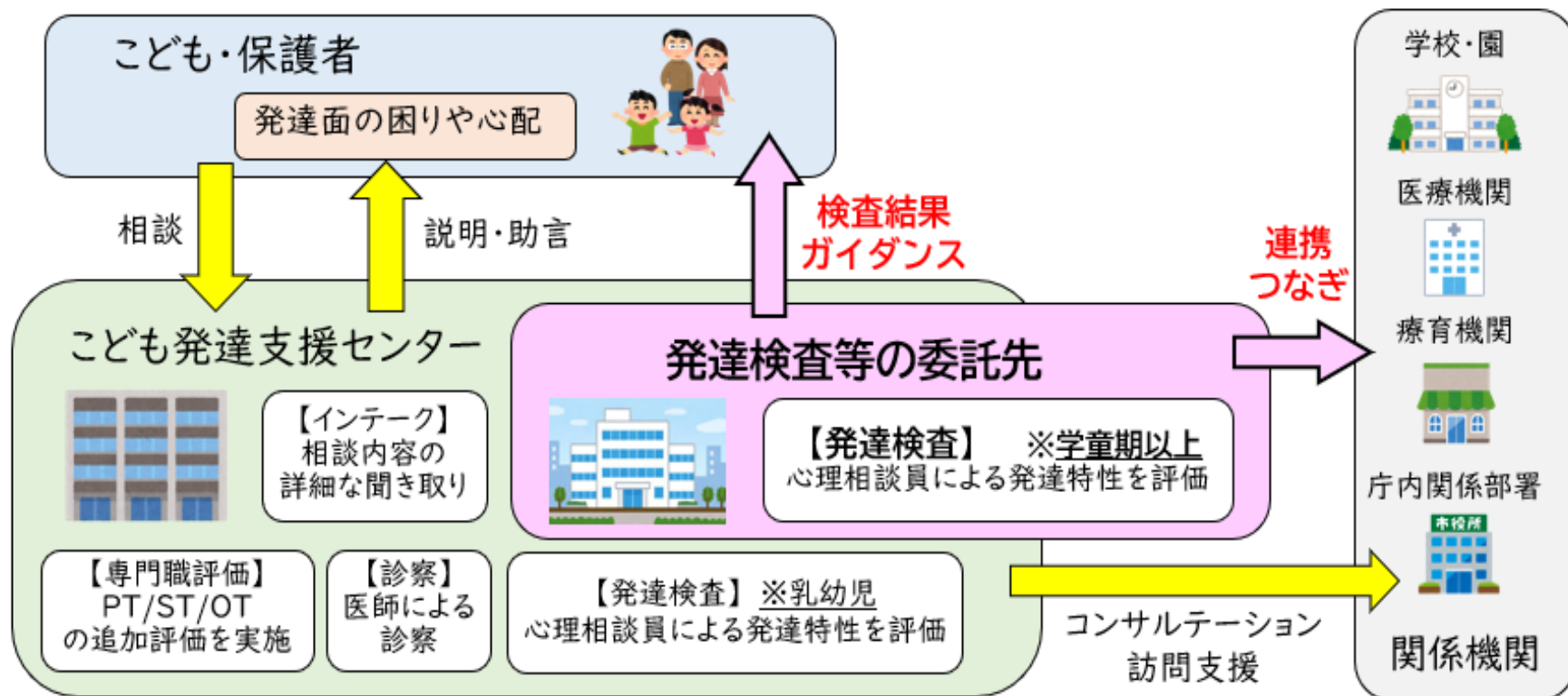
拡充 こども発達支援センターの体制強化 4,339 万円

令和8年度予算額

学童期以上の発達検査について発達検査業務の委託を実施することで、迅速な検査を実施し、こどもの特性や家庭の状況に合わせた質の高い支援体制の構築を図ります。

-Point-

- ・発達検査の委託により検査実施までの待機期間を短縮
- ・こども・保護者への助言、学校や園への支援、関係機関との連携や助言等より質の高い支援を行う



障がい児保育による支援の充実

令和8年度予算額

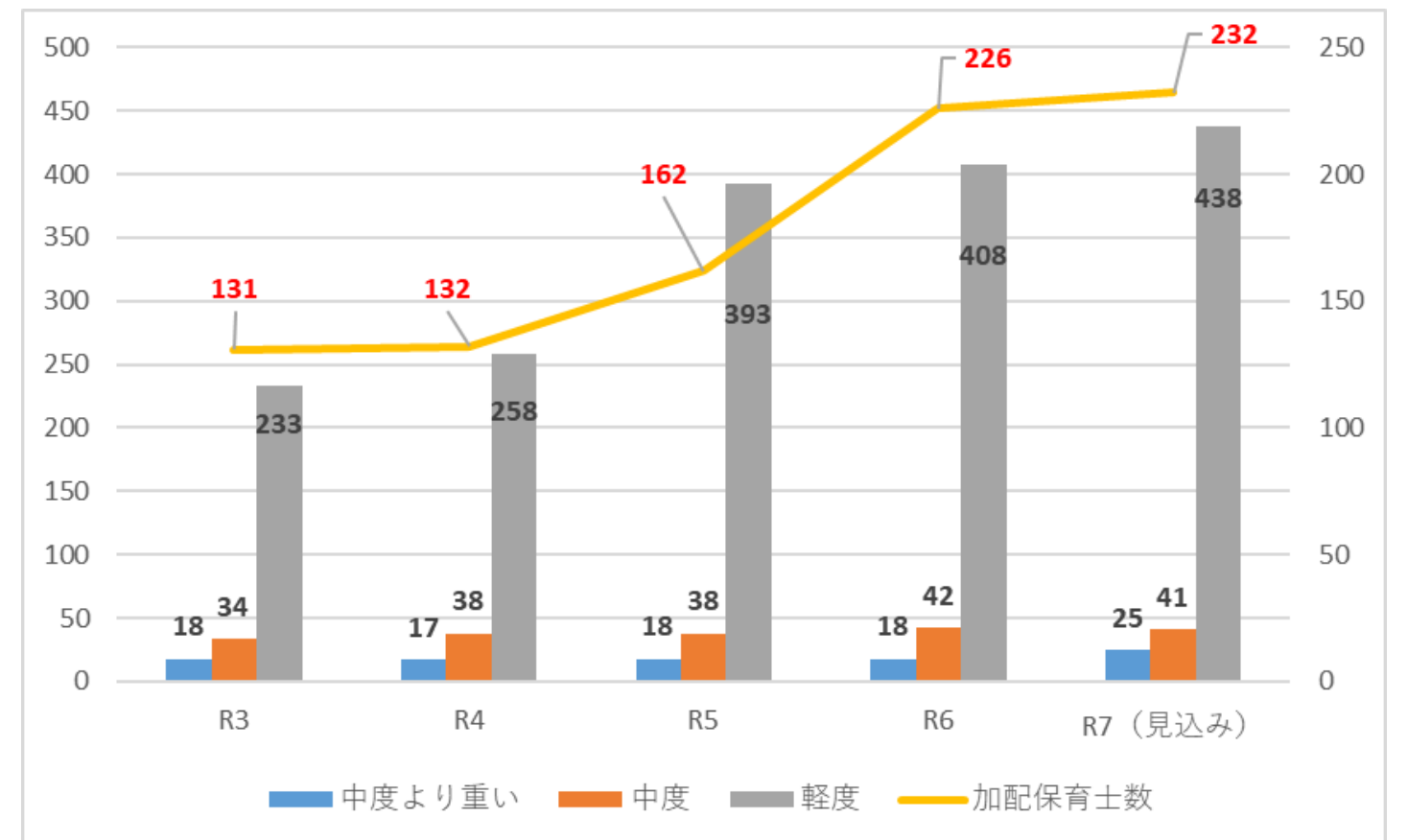
4.1 億円

様々な特性により支援を必要とするこどもは、年々増加しています。私立保育所や認定こども園に対して、障がい児保育を行う加配保育士を配置するための雇用経費を助成します。

-Point-

- ・保育所等の受入体制の整備
(支援が必要なこどもが安心して過ごせるよう、加配保育士を配置)

受入児童数と加配保育士数の推移



【安心4】 困難な状況にある子どもや家庭を支援する取組

新規

一時保護した子どもの支援

令和8年度予算額

416 万円

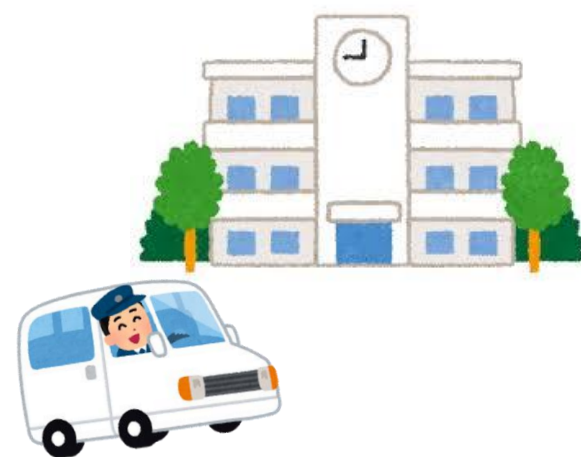
子どもの権利擁護の観点から、一時保護中児童のうち通学を希望する児童について、一時保護施設等から在籍する学校までの付添体制を整備し、通学支援の強化を図ります。

-Point-

- ・一時保護施設等から原籍校までの付添・送迎
- ・一時保護中児童の通学を保障

一時保護施設における一時保護件数 (単位：人)

R2	R3	R4	R5	R6
162	143	124	134	137



【安心5】若者等の希望の実現と活躍の場を提供する取組

拡
充

結婚を希望する方への支援

令和8年度予算額
4,500万円

くまもと出会いサポートセンター「Kumarry」を通して、結婚を希望する方に様々な出会いの機会を提供します。

-Point-

- ・AIマッチングシステムを活用した理想のお相手探し
- ・厳格な本人確認による安全性の高いサービス
- ・センタースタッフボランティア等による伴走型サポート
- ・婚活イベント・セミナー開催

活動実績

- ・会員数 **1,325名**
- ・お見合い成立 **2,396組**
- ・真剣交際成立 **157組**
- ・成婚数 **12組**

※R7.1末からR8.3.8までの累計
※会員数はR8.3.8時点の数値



保育人材確保の取組

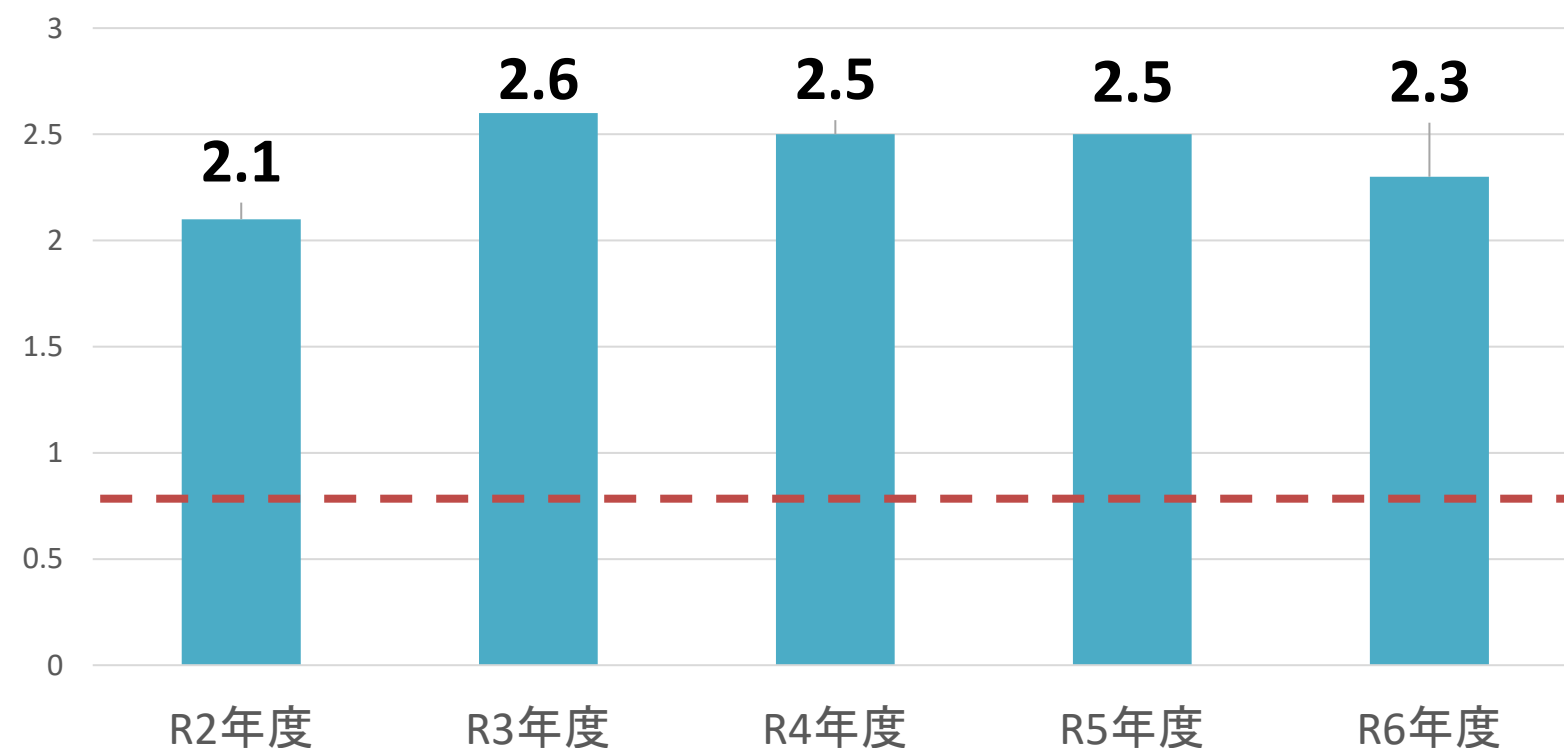
令和8年度予算額
592万円

保育士再就職支援コーディネーターを配置し、潜在保育士等の就職を支援します。また、中高校生の保育体験講座などに要する一部費用を補助します。

-Point-

- ・中高校生段階から就職時期まで、継続した取組を実施
- ・保育士資格取得支援
- ・保育士養成施設に対するキャリア教育等のための費用助成

保育士の有効求人倍率



【安心5】若者等の希望の実現と活躍の場を提供する取組

熊本で働きたい人への ”移住就職”支援

令和8年度予算額
2,980万円

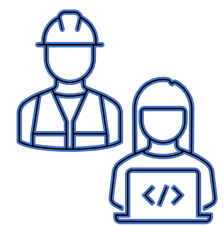
熊本市への移住を希望する方に就職や移住のサポートを行います。若者や子育て世帯など、熊本で暮らし働きたい人が安心して移住できるように、企業への就職活動に対する個別支援や希望に応じた地域への移住先の提案など、移住に至るまでの総合的な支援を行います。

-Point-

- ・ 求人紹介、応募書類作成などマンツーマンでサポート
- ・ 住まい・生活相談で、エリア選びや暮らしの不安を解消
- ・ 個人が希望する暮らしに沿った移住先の視察案内

※視察案内に係る交通費や食費等は自己負担

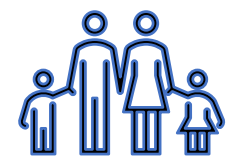
サポートした市内就職者数(R7年度)



70名

(R8.2月末時点)

サポートした市内移住者数(R7年度)



123名

(R8.2月末時点)



熊本市公式
移住情報LINE



熊本市公式
移住情報Instagram



熊本市公式
移住情報サイト

農業をはじめめる方への支援

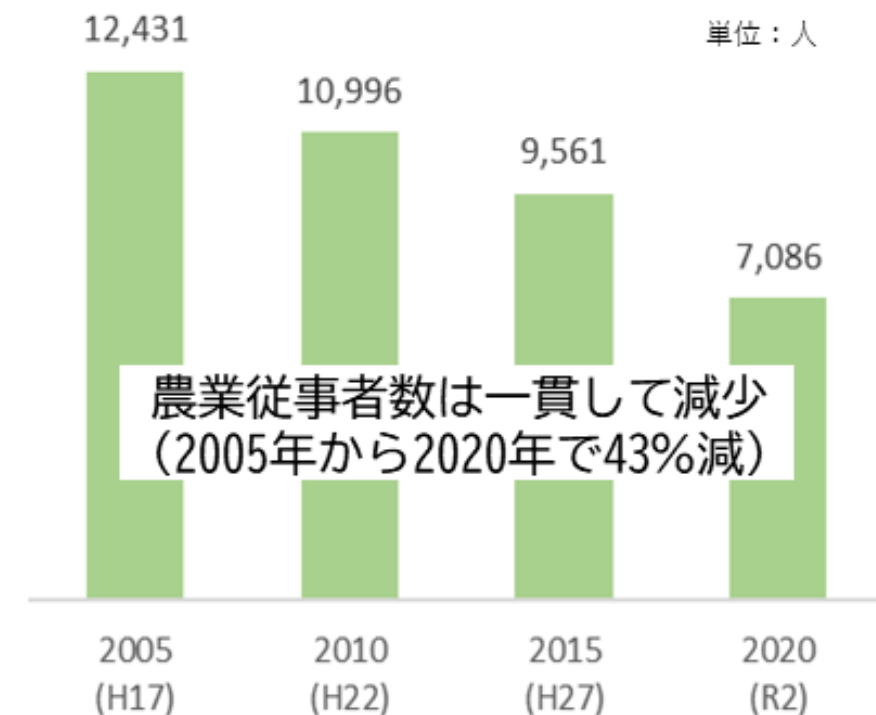
令和8年度予算額
2,400万円

本市農業の持続的な発展につなげるため、次世代の地域農業の担い手となる就農希望者の受入と、就農して間もない農業者の初期投資等を支援します。

-Point-

- ・ 市内外で広く就農・営農に関する相談会等を実施
- ・ 就農を希望する方へ産地での実践型就農体験を提供
- ・ 就農にあたり必要な農業用機械・施設等の導入を支援

基幹的農業従事者数（個人経営体）の推移



相談支援体制の整備

こどもや若者、そして子育てをしている方がいつでも安心して相談できる体制を整えることで、こどもたちが健やかに成長し、若者が夢を追いかけるための適切なサポートを行うとともに、子育てをしている方が抱える悩みや不安に寄り添い、共に解決策を見つけるための支援を行います。

安心	主な相談支援機関	妊娠 出産	育児	こども	若者	困難な 状況
1	こどもの権利 サポートセンター			○		
	妊娠内密相談センター	○				
2	こども家庭センター	○	○	○		○
	子育て ほっとステーション	○	○	○		
	児童家庭支援センター		○			○

安心	主な相談支援機関	妊娠 出産	育児	こども	若者	困難な 状況
4	里親支援センター					○
	児童相談所			○		○
	こども発達支援センター					○
	母子家庭等就業・ 自立支援センター					○
5	若者・ヤングケアラー 支援センター				○	○
	くまもと出会い サポートセンター				○	